

## 平成 25 年度 第 2 回 環境水理部会 議事録

時間：平成 26 年 3 月 6 日（木） 12:40～13:30

場所：神戸大学工学研究科（六甲台第 2 キャンパス）LR204 教室

出席者（敬称略）：角哲也，宮本仁志，赤松良久，大石哲也，石塚正秀，井芹寧，井上徹教，  
(出席者 [ ]) 梅田信，太田誠二，大橋伸之，工藤健太郎，齋田倫範，櫻井寿之，重枝未玲，  
新谷哲也，鈴木準平，鈴木伴征，竹林洋史，田代喬，都築隆禎，中山恵介，  
中山忠暢，長尾正之，藤野毅，鶴田泰士，矢島啓，矢野真一郎，湯浅岳史，  
横山勝英

(オブザーバー) 今村正裕，大槻順朗，田井明，土屋十圀，鶴田舞，二瓶泰雄（順不同）

議題：

### <資料>

- ・議事次第
- ・平成 25 年度 第 2 回 水工学委員会（報告資料）
- ・流域圏 WG 報告資料
- ・樹林化 WG 報告資料
- ・第 19 回水シンポジウム 2014 in ながさき資料（開催案内，第 1 分科会趣旨・構成（案））
- ・河川砂防技術基準（調査編）に関する国総研との勉強会資料
- ・新規 WG 提案資料

### <報告事項>

#### 1. 報告事項

##### 1) 平成 25 年度第 2 回水工学委員会の報告 角部会長より

- ・ISO/TC113「開水路における水位、流速、流量及び土砂輸送、降水、蒸発散、そして地下水の利用と挙動に関する水文観測の方法、手法、機器そして装置の標準化」に関する国際会議が日本で 2015.5.24-29 に開催予定
  - ・水理公式集の改定作業
    - 第 1 編 水文・水理
    - 第 2 編 河川・砂防
    - 第 3 編 ダム
    - 第 4 編 水資源利用と水処理
    - 第 5 編 海岸・港湾（海岸工学委員会の協力）
    - 第 6 編 河川・流域環境
- 今後の予定（2014.3 編集小委員会・執筆依頼，2014.9 第一次原稿，2015.3 最終原稿，2016.3 出版）
- ・水工学に関する夏期研修会（H26：九州工業大学，H27：東京地区）
  - ・水工学講演会（H27.3：早稲田大学，H28.3：7 月までに調整）

- ・全国大会研究討論会（水害関係，CommonMP の 2 件を申請）
  - ・水シンポジウム（H26.8：長崎，H27：福井）
- 2) 教科書 WG 活動報告（二瓶オブザーバーより）  
3 月末原稿提出，H26 刊行予定
- 3) 流域圏 WG 活動報告（赤松幹事より）  
第 4 回流域圏シンポジウム「漂流・漂着ゴミー研究の最前線と今後の課題」を開催  
日時：2013 年 12 月 12 日（木），場所：首都大秋葉原キャンパス・ダイビル 12F  
参加者 55 名
- 4) 樹林化 WG 活動報告（宮本副部長より）  
樹林化ワークショップ 2013 を河川部会河道 WG と共催で開催  
日時：2013 年 11 月 15 日（金），16 日（土），場所：東京大学工学部 1 号館 14 号講義室  
樹林化事例収集，情報交換，DB(樹林化カルテ)作成へむけてのキーファクター抽出  
参加者 24 名  
今後の予定：H26 研究集会のセッションの 1 つとしたい。
- 5) 第 19 回水シンポジウム 2014 in ながさき  
水工学委員会の 4 部会で持ち回りで分科会幹事を担当（今年度は環境水理部会担当）  
全体テーマ「見なおそう！「水と人との関わり」と今後の備え，～ 和・華・蘭まち  
から水に学ぼう・取り組もう ～  
第 1 分科会テーマ「水の恵みを守り活かそう ～水資源を次世代につなぐ長崎の知恵  
を再発見～  
パネリスト  
水工学委員会環境水理部会長（コーディネーター） 京都大学 角 哲也  
(テーマ 1) 水の恵み（歴史的水道施設、ダム役割）  
(長崎水道の成立や近代化に果たした役割) 長崎大学名誉教授 岡林 隆敏  
(長崎の利水の現状、濁水の歴史) 長崎市上下水道局 魚谷 伸介  
(長崎のダム再開発（長崎方式）の先進性) (一財)ダム技術センター川崎 秀明  
(テーマ 2) 海との関わり（物質循環、森・里・海連環）  
(河川を通じた物質循環の重要性) 首都大学東京 准教授 横山勝英  
(ダム堆積物を利用した藻場再生、水産資源) ダムフルボ酸鉄研究会 堀家茂一  
環境水理部会からも是非参加してほしいとの依頼がなされた。
- 6) 河川砂防技術基準（調査編）に関する国総研との勉強会  
3/6 の部会開催前に準備会を実施した。  
出席者：国総研（福濱，中村），環境水理部会（角，宮本，赤松），  
応用生態工学会（藤田幹事長）  
(国総研からの申し入れ)  
・河川砂防技術基準（調査編）は最近改訂されたが，今後定期的に学会と意見交換を

行って、継続的にアップデートしていきたい。

- ・環境水理部会には、応用生態工学会とともに勉強会を構成して、第 11 章河川環境 (将来的には第 14 章湖沼・貯水池の環境調査なども対象) に関して意見を求めたい。
  - ・年間 2 回 (3 月 (水工学講演会), 9 月 (応用生態工学会)) の勉強会を開催したい。
  - ・民間コンサルタントの部会メンバーからの意見も聞きたい。
- (環境水理部会からの回答)

- ・宮本副部長を中心に赤松幹事で勉強会に参加し、角部会長はアドバイザー的に関与し、今後、テーマにより随時部会メンバーから参加者を補強する。
- ・全体構成に対する意見交換のみではもったいないので、特定のテーマに絞った意見交換もお願いできれば有益と考える (樹林化 WG の成果を反映させるなど)
- ・5 月の部会研究集会で話題提供していただくとよいのではないか。

## 2. 審議事項

### 1) H26 年度研究集会について (大石幹事より)

来年度は岐阜市で 5/28-30 の日程で実施することとし、下記の実施案を了承した。

- 5/28 (水) ダム見学 (徳山ダム, 横山ダム)
- 5/29 (木) 研究発表会 (岐阜市生涯学習センター (定員 100 名))  
特別講演会 (高橋勇夫氏: たかはし河川生物調査事務所)  
河道内の藪化・樹林化に関するセッション (予定)  
河川砂防技術基準 (調査編) に関する国総研からの話題提供  
懇親会 (ナイトセッション) (神馬シン (ダムマニア), 新村安雄氏)
- 5/30 (金) 見学会  
自然共生研究センター  
世界淡水魚水族館 (アクア・トト)

参加申込み: 4/25 まで (詳細確定後、部会 HP 掲載予定)

### 2) 新規 WG 提案について (角部会長より)

震災対応 WG, 流域圏 WG が終了し、教科書作成 WG も間もなく終了することから、部会の活動の新たな展開を図るために、新規 WG の募集を行ったところ、次の 2 件の提案があり、それぞれの趣旨説明のち、WG を設置することとした。

今後、メーリングリストを通じて WG 参加者をそれぞれ募集する。

#### ・閉鎖性水域 WG (案) (代表: 矢島先生)

ミッション: 国内全体の閉鎖性水域に関する研究分野の活性化とレベルアップを図るとともに、国際的にも通用する湖沼生態系モデルの開発を行う。

メンバー: 現在関連研究を行っている方だけでなく、これから閉鎖性水域の研究を行い

たい人にも入っていただく。

活動内容： 1) 研究レベルアップ（観測手法，モデル）， 2) 第2世代湖沼生態系モデルの開発

1) の活動例

- ・水環境問題，観測手法，数値計算モデルに関する情報収集整理
- ・サマースクール（初学者対象の講義と実習）の開催 → 閉鎖性水域研究の魅力や分かっていないことなども伝える
- ・ワークショップの開催 → 最新の情報や失敗談を含めた情報共有
- ・メーリングリストを通じた情報交換
- ・共通のダム or 湖沼を対象とした，数値モデルの特性比較および精度向上

2) の活動例

- ・国際的に通用する共通生態系モデルの開発と実績作り

- ・動的総合土砂管理に関するWG（案）（代表：竹林先生（代理で赤松幹事より説明））

ミッション：流域スケールでの土砂輸送現象は数十年以上の比較的長時間の現象であり，管理手法も土砂の動態の変化に対応させた動的な管理が必要である。本WGでは流砂系の総合土砂管理を動的に行うための知見を得るための現地見学会やシンポジウムの開催を行う。

メンバー：土砂水理の専門家だけでなく，土砂が関連する環境水理の研究を行っている方にも入っていただく。

活動内容： 1) 現地見学会， 2) シンポジウム開催

1) の活動例

- ・黒部川の排砂見学会（6-7月，不定期，連絡を受けて現地集合）
- ・那賀川の置土見学会
- ・天竜川のアユ産卵床見学会

2) の活動例

- ・「河床変動解析の活用とその限界（仮）」基礎水理と共同開催
- ・「流砂系土砂動態の変化と河川樹林化（仮）」樹林化WGと合同開催

### 3. その他

2014/5/28-30 研究集会（岐阜）

2014/8/21 水シンポジウム長崎

2014/9/10 or 11 部会@大阪大学